

神経内科

neurology

教授	田中耕太郎	Tanaka Kortaro
助教授	高嶋修太郎	Takashima Shutaro
助手	田口 芳治	Taguchi Yoshiharu

原著

- 1) Suzuki S., Yamashita T., Tanaka K., Hattori H., Sawamoto K., Okano H., Suzuki N.: Activation of cytokine signaling through leukemia inhibitory factor receptor (LIFR)/gp130 attenuates ischemic brain injury in rats. *J Cereb Blood Flow Metab.* 25(6):685-693, 2005.
- 2) Tanaka K., Kujuro Y., Suzuki S., Tanahashi N., Hamada J., Nogawa S., Suzuki N.: Clinical and laboratory features of in-patients with multiple sclerosis in a university hospital in Tokyo from 1988-2002. *Internal Med* 44(6):560-566, 2005.
- 3) Suzuki S., Shimoda M., Kawamura M., Sato H., Nogawa S., Tanaka K., Suzuki N.: Myasthenia gravis accompanied by alopecia areata: clinical and immunogenetic aspects. *Eur J Neurol.* 12(7):566-570, 2005.

症例報告

- 1) Taguchi Y., Takashima S., Sasahara E., Kato Y., Orihara T., Inoue Y. and Inoue H. : Inappropriate secretion of antidiuretic hormone in a patient with chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy . *Internal Medicine* 44:65-67,2005.
- 2) 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上博: ビタミン B12 欠乏性神経障害に伴う Hunter 舌炎. *内科* 95:343, 2005 .
- 3) 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上博: 治療とともに著明に改善した高齢者間欠型一酸化炭素中毒の 1 例. *日老医誌* 42 : 360-363, 2005 .
- 4) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 笹原悦子, 田口芳治, 井上博: てんかん重積状態に加えてプロポフォールの関与が疑われた横紋筋融解症の 2 例. *Journal of Japanese Congress on Neurological Emergencies* 18:69-72,2005.
- 5) 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上博: 感染性心内膜炎に合併した髄膜炎による脳血管炎の造影 MRI と MRA の経過. *内科* . 96 : 378, 2005 .
- 6) 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上博: てんかん発作後に発症した肺膿瘍の 1 例. *内科* 96 : 1141, 2005 .

総説

- 1) 田中耕太郎, 野川 茂, 永田栄一郎, 鈴木重明, 傳法倫久, 小堺有史, 阿相 皓晃, 鈴木則宏: オリゴデンドロサイト前駆細胞の局所脳虚血・再灌流時の活性化・増殖反応と再髄鞘化. *脳循環代謝* 17:41-52, 2005.
- 2) 田中耕太郎: 脳梗塞急性期・脳保護療法のあり方. *神経治療学* 22:179-189, 2005.
- 3) 田中耕太郎: 脳梗塞患者に対する脳保護療法のエビデンス - エグラポンを中心に. *EBM ジャーナル* 6:550-558, 2005.
- 4) 伊東大介, 田中耕太郎: 脳虚血時のミクログリアの活性化とカルシウム結合蛋白 Iba1 の発現. *分子脳血管病* 4:367-372, 2005.
- 5) 奥田聡, 田中耕太郎: ラクナ梗塞におけるエグラポンの有用性. *Pharma Medica* 23:83-89, 2005.
- 6) 田中耕太郎: 神経内科医からみた急性期めまいの薬物療法. *Monthly Book ENTONI* 53(9月増刊号) :60-66, 2005.
- 7) 高嶋修太郎: 失語, 構音障害. *Medicina* 42:428-430, 2005.
- 8) 高嶋修太郎: 心原性脳塞栓症の画像診断. *神経内科* 63:222-231, 2005.
- 9) 高嶋修太郎, 田中耕太郎: 小脳の循環. *Clinical Neuroscience* 23:1365-1366, 2005.

学会報告

- 1) 久住呂友紀, 田中耕太郎, 菊池春人, 陣内記代, 鈴木則宏: 日本人 MS およびその他の神経疾患における oligoclonal band の検討. 第 17 回日本神経免疫学会学術集会, 2005, 3, 福岡 .
- 2) 鈴木重明, 佐藤隆司, 田中耕太郎, 河上 裕, 鈴木則宏, 桑名正隆: 重症筋無力症における voltage-gated potassium channel kv1.4 に対する新規自己抗体. 第 17 回日本神経免疫学会学術集会, 2005, 3, 福岡 .
- 3) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田口芳治, 笹原悦子, 井上博, 濱口毅, 山田正仁: PrP 遺伝子に R208H 変異を認めた Creutzfeldt-Jakob 病の 1 例. 第 111 回日本神経学会東海北陸地方会, 2005, 3, 福井 .

- 4) 田口芳治, 高嶋修太郎, 笹原悦子, 井上博, 大谷裕子, 大谷修: ラット両側内頸動脈閉塞モデルにおける毛細血管の形態学的変化に関する研究. 第 110 回日本解剖学会総会, 2005, 3, 富山.
- 5) 田中耕太郎, 棚橋紀夫, 濱田潤一, 野川 茂, 武田英孝, 高橋慎一, 鈴木則宏: ラクナ梗塞の危険因子 - 慶應義塾大学脳卒中データベースより. 第 30 回日本脳卒中学会総会, 2005, 4, 盛岡.
- 6) 高嶋修太郎, 笹原悦子, 田口芳治, 道具伸浩, 井上博: 心房細動停止後の脳塞栓発症リスクについて. 第 30 回日本脳卒中学会総会, 2005, 4, 盛岡.
- 7) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 笹原悦子, 井上博: Spectacular shrinking deficit を呈した脳塞栓症の脳循環動態と画像所見. 第 30 回日本脳卒中学会総会, 2005, 4, 盛岡.
- 8) 高嶋修太郎, 笹原悦子, 田口芳治, 道具伸浩, 井上博: 心房細動停止後の脳塞栓発症リスク. 第 46 回日本神経学会総会, 2005, 5, 鹿児島.
- 9) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 笹原悦子, 井上博: Spectacular shrinking deficit を呈した脳塞栓症の脳血流 SPECT 所見. 第 46 回日本神経学会総会, 2005, 5, 鹿児島.
- 10) 田中耕太郎, 久住呂友紀, 鈴木重明, 鈴木則宏: 多発性硬化症の MRI 病巣分布 - 臨床経過による病型別比較を中心に. 第 46 回日本神経学会総会, 2005, 5, 鹿児島.
- 11) 久住呂友紀, 田中耕太郎, 百島祐貴, 鈴木則宏: 多発性硬化症における MRS(magnetic resonance spectroscopy)解析 - 臨床病型間の比較. 第 46 回日本神経学会総会, 2005, 5, 鹿児島.
- 12) 鈴木重明, 佐藤隆司, 田中耕太郎, 河上 裕, 鈴木則宏, 桑名正隆: 重症筋無力症 (MG) における電位依存性カリウムチャンネル (Kv1.4) に対する自己抗体. 第 46 回日本神経学会総会, 2005, 5, 鹿児島.
- 13) 野川 茂, 田中耕太郎, 鈴木則宏: パーキンソン病の夜間・早朝症状に対するカベルゴリンのアンケートによる評価. 第 46 回日本神経学会総会, 2005, 5, 鹿児島.
- 14) 鳥谷部真史, 道具伸浩, 田口芳治, 高嶋修太郎, 井上博: 両側胸髄側索に Gd で造影される T2 高信号域を認めた慢性炎症性脱髄性多発神経炎の 1 例. 第 196 回日本内科学会北陸地方会, 2005, 6, 富山.
- 15) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 笹原悦子, 田口芳治, 井上博: 治療により著明に改善した Wilson 病の 1 例. 第 23 回日本神経治療学会総会, 2005, 6, 鳥羽.
- 16) 田中耕太郎, 久住呂友紀, 鈴木重明, 鈴木則宏: 多発性硬化症患者におけるインターフェロン- β に対する中和抗体の影響. 第 23 回日本神経治療学会総会, 2005, 6, 鳥羽.
- 17) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 井上博, 田中耕太郎: 乾燥症状に先行した Sjögren 症候群による脊髄炎の 1 例. 第 112 回日本神経学会東海北陸地方会, 2005, 6, 名古屋.
- 18) 田中耕太郎: 無症候性脳梗塞病変 - 各方面からのアプローチ. 最近のラクナ梗塞患者の危険因子よりみた無症候性脳梗塞病変への取り組み方. 第 14 回日本脳ドック学会総会, 2005, 7, 名古屋.
- 19) Kujuro Y., Tanaka K., Kato M., Saito F., Shimizu T., Nogawa S., Suzuki N.: Cognitive impairment in Japanese multiple sclerosis: differences between opticospinal type and conventional type. 21st Congress of the European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS2005)/ 10th Annual Meeting of the Americas Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ACTRIMS2005), 2005 年 9 月 30 日 Thessaloniki, Greece.
- 20) Kujuro Y., Tanaka K., Shimizu T., Hamada J., Suzuki N.: Headache as an initial symptom in multiple sclerosis. The XII Congress of the International Headache Society, 2005, 10, 10, Kyoto.
- 21) 志田拓也, 田口芳治, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 平井忠和: 心尖部肥大型心筋症に合併した心原性脳塞栓症の 1 例. 第 113 回日本神経学会東海北陸地方会, 2005, 10, 金沢.
- 22) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 田中耕太郎: 脳梗塞急性期における嚥下障害と血漿サブスタンス P 値に関する検討. 第 17 回日本脳循環代謝学会総会, 2005, 11, 名古屋.

その他

- 1) 高嶋修太郎: 知っておきたい不随意運動の診断と治療. 第 14 回脳卒中カンファレンス, 2005, 1, 富山.
- 2) 田中耕太郎: 脳梗塞急性期の病態生理 - 白質の立場を中心に. 第 8 回北九州脳卒中急性期治療研究会, 2005, 2, 北九州.
- 3) 高嶋修太郎: 日常診療に役立つ“めまい”の診かた. 臨床懇話会, 2005, 4, 富山.
- 4) 久住呂友紀, 田中耕太郎, 加藤元一郎: 多発性硬化症における認知機能障害. 第 7 回 Neuroimmunology conference, 2005, 4, 東京.
- 5) 高嶋修太郎: 心原性脳塞栓症の発症機序と病態. 第 7 回 C.C.カンファレンス, 2005, 5, 東京.

- 6) 田中耕太郎：CREB 研究の現状と展望 - 脳虚血。CREB-FORUM, 2005, 5, 東京。
- 7) 田中耕太郎：脳卒中の予防と対策。キメラ会学術研修会, 2005, 6, 富山。
- 8) 田中耕太郎：多発性硬化症 - 最近の臨床研究から。富山神経内科セミナー, 2005, 7, 富山。
- 9) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 笹原悦子, 田口芳治, 井上博：神経症状と MRI 所見が著明に改善した神経型 Wilson 病の 1 例。第 4 回北陸パーキンソン病研究会, 2005, 7, 金沢。
- 10) 高嶋修太郎：病気と上手につき合うために。富山市保健所平成 17 年度特定疾患療養相談会, 2005, 8, 富山。
- 11) 田中耕太郎：増え続ける認知症患者の診断と治療について。射水郡医師会月例会, 2005, 8, 富山。
- 12) 田中耕太郎：脳血管作用メディエータによる血流調節。第 15 回脳血管シンポジウム, 2005, 9, 大阪。
- 13) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 田中耕太郎：シェーグレン症候群に併発した脊髄炎の 2 例：MRI 所見の特徴について。第 7 回北陸神経免疫フォーラム, 2005, 9, 金沢。
- 14) 田中耕太郎：脳梗塞急性期の病態生理と治療 - 白質の立場を中心に。第 19 回富山県脳卒中研究会, 2005, 9, 富山。
- 15) 田中耕太郎：脳卒中急性期における内科的治療。日本医師会生涯教育協力講座 脳血管障害, 2005, 9, 岐阜。
- 16) 田中耕太郎：脳血管障害と高血圧治療。氷見市医師会学術講演会, 2005, 9, 氷見。
- 17) 田中耕太郎：脳梗塞急性期の病態生理と治療 - 白質と内在性保護機構の立場から。第 66 回富山医科薬科大学医学会学術集会 就任講演, 2005, 9, 富山。
- 18) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 田中耕太郎：I-123 Iomazenil 脳 SPECT で経時変化を観察した MELAS の一例, 第 12 回富山県臨床核医学研究会, 2005, 9, 富山。
- 19) 高嶋修太郎：認知症高齢者の基本的理解。平成 17 年度ホームヘルパー技術向上研修, 2005, 9, 富山。
- 20) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 田中耕太郎：シェーグレン症候群に併発した脊髄炎の 2 例：MRI 所見の特徴について。第 7 回北陸免疫フォーラム, 2005, 9, 金沢。
- 21) 高嶋修太郎：知っておきたい不随意運動の診療。富山パーキンソン病講演会, 2005, 9, 富山。
- 22) 田口芳治, 高嶋修太郎, 道具伸浩, 田中耕太郎：I-123 Iomazenil 脳 SPECT で経時変化を観察した MELAS の 1 例。第 12 回富山県臨床核医学研究会, 2005, 9, 富山。
- 23) 田中耕太郎：歩行障害で発症する神経疾患 - 歩行障害の診かたを含めて。第 15 回脳卒中カンファレンス, 2005, 10, 富山。
- 24) 田中耕太郎：脳梗塞急性期 - 最近の内科的治療。第 11 回富山救急・災害医療懇話会, 2005, 10, 富山。
- 25) 田中耕太郎：脳卒中急性期の内科的治療。第 314 回高岡市内科医会学術講演会, 2005, 10, 高岡。
- 26) 田中耕太郎：歩行障害の診かた。第 9 回富山大学地域連携研修会, 2005, 10, 富山。
- 27) 田中耕太郎：t PA 製剤アルテプラゼの適正使用について。脳梗塞 t PA 適正使用講習会, 2005, 10, 富山。
- 28) 田中耕太郎：脳梗塞急性期の病態生理と治療 - 白質の立場を中心に。第 19 回 Metropolitan Stroke Forum, 2005, 10, 東京。
- 29) 田中耕太郎：フリーラジカルスカベンジャーの臨床応用 基礎研究からの提案 脳。フリーラジカルと脳疾患研究会 合同学術集会, 2005, 10, 東京。
- 30) 田口芳治, 菊川哲英, 箭原康人, 道具伸浩, 高嶋修太郎, 田中耕太郎：投薬コントロールに苦労した若年性パーキンソン病の 1 例。第 9 回富山大学地域連携研究会。2005, 10, 富山。
- 31) 高嶋修太郎：脳血管障害。第 5 回富山大学医療福祉連携研修会, 2005, 11, 富山。
- 32) 田中耕太郎：脳梗塞急性期の内科的治療 - 白質の立場と最近の話題から 2005 新潟脳血栓症急性期フォーラム 2005, 11, 新潟。
- 33) 田中耕太郎：脳梗塞急性期の内科的治療。日本医師会生涯教育協力講座 脳血管障害, 2005, 11, 福井。
- 34) 田中耕太郎：Phosphodiesterase 阻害薬に期待される脳保護作用。血栓症 学術講演会, 2005, 12, 富山。